

## インドネシアにおける医療機器管理体制の構築

- ① 2018～2020年度、ア大学を対象とした本事業で育成されたエンジニアにより、ア大学の透析液清浄化の継続体制が実現した。その成果を受け、保健省は国の透析液水質基準を制定した。2022年度、医療機器管理技術を東ジャワ地域に広げるためのオンライン研修をエンジニアを対象に実施し、他施設の参加者は190名に上った。
- ② 血液透析治療をエンジニアの知識/技術の向上による透析液清浄化によって改善。日本の臨床工学技士に準ずる人材育成研修をア大学内で実施する体制を整備し、日本製透析機器などのマーケット拡大につなげる。
- ③ ア大学の透析液清浄化・医療機器管理体制を元にモデル体制を構築し、東ジャワ地域その他機関へ展開する。聖マリア病院が中心となり、関係団体・企業の支援を得て、ア大学がエンジニアの教育体制を整備し、他施設へ研修コースを実施し、聖マリア病院がこれを支援する。
- ④ 2024年1月までに参加機関の1)透析液が清浄化、2)機器管理体制が構築されることにより、多くの患者の予後改善、日本製機材導入が期待される。エンジニアの資格制度確立へつながることも期待される。

